

令和5年度第3回池田市図書館協議会会議録要録

日 時：令和6年3月3日（日）午前10時～12時00分

場 所：池田市立図書館 多目的室

出席者：（委員）藤原委員、大森委員、小倉委員、佐藤委員、中嶋委員、向田委員、入江委員、
中辻委員、平野委員、森脇委員
（事務局）小林教育部長、西田生涯学習推進室長、林図書館長、塚原石橋図書館長、
他職員2名

欠席者：なし

傍聴者：なし

議 題：・令和6年度の重点目標について
・電子図書館の利用状況について

配布資料 ・第3回図書館協議会出席者名簿
・令和6年度の重点目標
・電子図書館の利用状況について
・池田市電子図書館利用者アンケート

<事務局挨拶>

会 長 令和6年度の重点目標について、事務局より説明願います。

事務局 それでは、まず「1 図書館システムのリニューアル」についてご説明させていただきます。

<事務局より説明>

会 長 今回のシステム更新にあたって機器の台数や設置場所などの変更はありますか。

事務局 機器についてはほぼ現在と同様の台数、設置場所を予定しております。

会 長 更新作業は年末年始の休館を延長する形で実施するとのことですが、その間でも電子図書館は使用できるなど、利用者に向けた対応はありますか。

事務局 休館中も電子図書館は利用可能ですので、ホームページや館内でもお知らせをいたします。

会 長 電子図書館がサービス停止することはあるのでしょうか。

事務局 メンテナンスの際は一時的に利用できない場合がありますが、これまでに実施したメンテナンスでは数時間程度である場合がほとんどでした。

会 長 それなら休館中でも電子図書館での図書館利用ができそうですね。

委 員 現在の図書館システムになって11年とのことですが、図書館システムの更新は定期的に必要なのですか。

事務局 システムについては約10年で見直しが必要だといわれています。システムが古いままでは対応できないものもあり、たとえば、新しいシステムでは図書館カードをスマートフォンで表示する機能が利用できます。

会長 それでは、次に「2 電子図書館の利用促進」について説明をお願いいたします。

<事務局より説明>

会長 利用者アンケートの実施によって、利用者の率直な意見や利用実態を把握することができますね。その結果に基づいて特集やページのレイアウトを検討し、反映させていくことが重要だと思います。アンケートの実施時期や頻度についてはどのようにお考えですか。

事務局 令和5年度は12月に電子図書館サービスを開始し、1月にアンケートを実施しました。令和6年度も実施を予定しておりますが、時期については現在検討中です。

委員 資料を探す際に、図書館と電子図書館が分かれているため2カ所で検索をしなくてはならず、少々不便さを感じました。アンケートでそのような意見はありましたか。また、改善策はあるのでしょうか。

事務局 所蔵資料を一括で検索できたらありがたいといった回答はありました。紙資料と電子資料のデータ連携については費用面でもかなり差があり、他市の電子図書館を見ても別々に運用しているところが多いと認識しております。

委員 紙資料の資料検索画面で「電子図書館もご覧ください」といった誘導があると電子図書館の活用にもつながるのではないのでしょうか。

事務局 資格取得に関する資料など、電子図書館にしかない資料もありますので、わかりやすくPRしていきたいと考えております。

会長 では、次の「3 子育て支援事業の推進」について説明をお願いいたします。

<事務局より説明>

委員 図書館ではキッズコーナーでおはなし会を開催していますが、使用規定などはあるのでしょうか。たとえばキッズコーナーで音楽会など、音楽を流してのイベント開催は可能でしょうか。

事務局 特に規定はありませんが、近くにパソコンコーナーや閲覧ソファなどもありますので、音量の面など、他の利用者の方に大きく影響が出ない範囲でしたら可能ではないかと考えております。

委員 キッズコーナーは開けた場所なので、気軽に途中参加できるというメリットもありそうです。

会長 保育所や幼稚園との連携事業については、私立も含めて検討されているのでしょうか。

事務局 現在行っている取組みでは、五月丘こども園には五月丘に図書館があった頃から継続して出張おはなし会を開催させていただいています。また、宣真幼稚園には出張移動図書館も行っています。

会長 ぜひ今後も連携を深めていってほしいです。

それでは、「4 多文化サービスの充実」について説明をお願いいたします。

<事務局より説明>

委員 外国籍の方の図書館利用が多くなってきているとのことですが、様々な言語の方がいらっしゃると思います。来館された際に利用案内などのやりとりはどのように対応されて

いますか。

事務局 新規登録の際には多言語利用案内などで対応しておりますが、ご自身でスマートフォンの翻訳アプリなどを活用してくださる方もおられます。石橋図書館では同じ建物内にダイバーシティセンターがありますので、図書館職員だけの対応が難しい際には、ダイバーシティセンターの方に協力をお願いすることもあります。

会 長 石橋図書館のように、違った分野の施設が連携できる複合施設は市民の利便性向上や生涯学習の一助となれるのではないのでしょうか。ダイバーシティセンターだけではなく、他の施設とも連携をとっていってもらえたらと思います。

事務局 今後はくれば音楽堂や歴史民俗資料館、児童文化センターなども、社会教育施設として市民の方が利用しやすい施設運営を検討しております。

会 長 よろしく願いいたします。それでは「5 課題解決支援サービスの推進」について説明をお願いいたします。

<事務局より説明>

会 長 課題解決支援ということで市民向け講座や図書館のコーナー作りなど様々に取り組んでおられますが、広報いけだの3月号では図書館の特集ページがありましたね。図書館のサービスが大変わかりやすくまとめられていて良かったと思います。電子図書館のログイン方法なども具体的に掲載されていて、インターネット操作が苦手な方や、普段図書館を利用しない方にも伝わったのではないのでしょうか。

会 長 それでは次の議題、電子図書館の利用状況について説明をお願いいたします。

<事務局より説明>

会 長 アンケートでは資料数については満足度が低いという結果が出ていますが、ある程度予想の範囲内だった部分もあるようですね。その中でジャンル構成やサイトの使いやすさなどの面では半数以上が普通・おおむね満足という結果となり、導入を待っていたという感想など、サービス開始による成果も感じられます。

委 員 予約資料が確保できた場合のメール通知への要望が多かったようですね。今後改善予定などはあるのでしょうか。

事務局 メール通知についてはその機能がそもそも無いため、電子図書館システムの提供事業者側でサービスの変更などがあれば当館でも利用可能になるかと思えます。

委 員 図書館側で変更できるものではないということですね。

委 員 資料の購入予算としては、紙資料への影響はあるのでしょうか。これまでの予算から紙資料と電子資料に配分する形ですか。

事務局 電子図書館で提供できるコンテンツには限りがありますので、今後電子資料も増えていきますが、紙資料が主流であることは当面変わらないと考えております。紙資料と電子資料は分けて予算を計上しています。

委 員 個人的には電子書籍の文字は小さいため、紙資料の方が読みやすく感じます。

会 長 電子図書館や電子教科書などがどんどん広まっていますが、紙と電子どちらも大事な要素という考えが主流だと思います。

委 員 文字が読みにくいという方にはそのデメリットを上回る、電子資料ならではのメリットや使い方をアピールすると、より興味を持ってもらえるように思います。

事務局 電子図書館の使い方講座や体験会を通して、今後も周知・PRを行っていきたいと考え

ております。

- 委員 小中学校で配布されているタブレットでも電子図書館を利用することは可能でしょうか。たとえば学童の現場でも利用できたら良いと思います。
- 事務局 タブレット端末については閲覧制限や持帰りについてなど、各学校によって対応が異なると聞いています。
- 委員 学童ではタブレットを使ってはいけないと指導しているところもあると聞きました。本を買うことが難しい子も学校から配布されたタブレットは持っていますので、使えるようになると良いと思います。
- 委員 せっかくサービスを開始したのですから、こんな風に使ってほしい、こんな使い方もできる、といった案内を積極的に行って市民の利便性向上や利用の増加に繋げてほしいです。
- 事務局 電子図書館について学校教育の現場への周知もまだ十分ではありませんので、図書館や学校側からもPRを今後丁寧に行っていきたいところです。また、現時点ではWi-Fi環境があるのは普通教室のみですが、予算がついて全ての教室でWi-Fi使用が可能になれば、学童の部屋でも利用が可能になるかもしれません。
- 委員 現在は図書館カードの登録がないと電子図書館の利用はできませんが、カードを作らない、作れない家庭もあると思います。学校でも図書館カードの配布や利用者登録ができる形になれば良いと思います。
- 委員 学校の団体貸出カードで電子図書館の利用は可能なのですか。
- 事務局 電子図書館のコンテンツは個人利用者のみが対象ですが、他の自治体では学校と連携して生徒個人に一斉にIDを配布している例もありますので、今後他市の事例を調査し、サービス拡大につなげていきたいと考えております。
- 会長 その他のご意見等はございますか。
- 委員 障がい者室にある点字プリンターについてですが、現在使用できない状態だと聞いています。今後修理、もしくは新しい機械の購入予定はありますか。
- 事務局 点字プリンターと連携しているプログラムとパソコン本体のバージョンが対応していない関係で、現在使用できない状態ですが、システム更新の際に対応が可能か確認、検討をしております。
- 会長 それでは、令和5年度第3回の協議会を終了いたします。